

ロータリー月今月： 基本的教育と識字率向上 来月： 経済と地域社会の発展

【高萩RC創立 50 周年】 9 月 16 日例会より

『 イニシエーション・スピーチ 』

田所 和雄会長 挨拶



ガバナー公式訪問を前にしてアジサイロードの草刈りを棚谷さんのチームにやっていただき、すっかりきれいになりました。御礼申し上げますとともに、来る 20 日、私どもで花柄の剪定、つた狩りをして、さらに整えたいと存じます。よろしくご協力をお願いいたします。

本日は、菅内閣の組閣でございます。茨城県とも深い関係があり何かと期待したいところです。

新会員のイニシエーション・スピーチを本日よりお願いいたしておりますが、新会員のための資料を読みましたところ、「4 つのテスト」の意義が説明されておりました。全世界のロータリアンの共通の指針、心構えとなるものです。再認識いたしました。池田正純ガバナーも共通の価値観として、喚起しております。

大平敏明会員、滝範宗会員さんご苦労様です。よろしくをお願いいたします。

幹事報告 大河原浩 幹事

- ・地区補助金 254,400 円が振り込まれました。
 - ・アジサイロードの草刈後の写真が届いています。
 - ・公式訪問の日程に関する文書をご覧ください。
- 会場は「月乃家」です。11:50 までに着席です。記念のジャケット着用可。マスク、ネクタイ、テーマバッジ、ロータリーバッジ着用
例会終了後記念撮影を行います。
クラブ協議会の出席よろしくをお願いいたします。

鈴木啓志記念事業実行委員長代行の報告



先週以来、記念の看板の設置場所について協議してきました。総合福祉センター敷地内、6 号国道沿い、沼田さんから話が在った和野入口 T 字路付近、本町の常陽銀行の近く、目立つところですが、いろいろ候補地があるのはありがたいわけですが、すぐそばの看板との競合関係や調和など、いろいろ考えているところです。

そしてどういうふうにするか、悩んでいます。時間を多くとれませんのでそういう方向で進んでいると報告しておきます。

新型コロナウイルス感染対策について

SAA 委員会で作成したガイドライン。会員並びに来訪者、関係者の「健康・安全・安心」を最優先に策定し、例会運営を進める。(要旨)

開催条件 国の規制による。ロータリーの規制・推奨に従う。
茨城県の対策ステージ 3 以下。拡大の恐れのある場合、理事会の決議をもって休会とする。

会場設営 消毒液配置。演台にアクリル板設置。マイク消毒
座席の間隔の確保。司会者による飛沫防止対策の実施。

例会、理事会のオンライン開催に慣れるようにする。

受付時・開催時 体温報告(朝の検温の奨励)。

ソーシャル・ディスタンスの配慮。サインは自分のペンを使用し共用を回避。食事時の会話を控える。ソングの斉唱は中止し、演奏曲を鑑賞する。会場の換気に留意する。

友情の握手は中止し、お辞儀やエルボータッチで歓迎の意を表す。

オンライン (ZOOM 等) での出席を認める。

月 日	プログラム	担 当	9月16日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
9 月 23 日	ガバナー補佐事前訪問	会長・幹事			
9 月 30 日	ガバナー公式訪問	会長・幹事	34	17	14
10 月 7 日	会員増強	会員増強委員会	出席率：54.84%		
10 月 14 日	公共イメージ向上について	公共イメージ向上委員会	前々週訂正：90.00%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町 2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505

■URL <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：田所 和雄

幹 事：大河原 浩

例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

公共イメージ委員：石 君平 和田昌也 小森勇一 大高司郎
棚谷 稔 石 平光 今川 隆 大平敏明

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

イニシエーション・スピーチ



大平 敏明 会員

昨年7月に入会いたしました、1年2か月が経過しました。今年2月にイニシエーションの声がかかりましたが、都合が悪くて本日となりました。

1960年昭和35年6月12日生まれ60歳です。昔の自分が写っている写真を見るとあんなに髪の毛があったのだと思います。ロータリーに入会して老けるスピードを落としていきたいなと思います。クラブの中では年齢的には中間に近い若手のグループでしょうか。

学生時代

高萩小、高萩中、日立一高、福島大学すべて入学時の校舎は創立時の校舎で、在学中に一部新校舎が完成し入ることができました。卒業の時も一部旧校舎は残っていました。ここでも、古い木造校舎の石炭ストーブも知っているし、近代的な水洗トイレ付きの鉄筋コンクリート校舎も知っている中間の世代かもしれません。

父が長く高萩 RC にお世話になっており、正会員をやめた時には、何人かに入会のお誘いをいただきましたが、うまいお答えをしないで申し訳ありませんでした。50周年には間に合いましたのでご勘弁ください。

オグデンさんのホームステイ

15年前にお茶の水大学の数学の教授の藤原正彦さんの「国家の品格」という本がベストセラーになりました。外国人は、流ちょうな英語をしゃべれるより、日本の歴史とか文化について片言の英語でも教えてくれる方が尊敬するのだと書いていました。それには、一に国語二に国語三四がなくて五に国語だそうです。

また、私が高校三年生の時 RC 交換留学生が1ヵ月私の家に来ました。オーストラリアから来たシャン・マリー・オグデンという たぶん19歳の女性でした。今でも覚えているのですが、最初の日に、父母姉私5人で夕食をとった時に、夏目漱石の「こころ・坊ちゃん・三四郎」を英訳で読んできたらしく、「敏明さん感想は」という雰囲気になったような覚えがあります。また、富士山にも RC の人と一緒に登山してきたとのことでした。「こころ」は読んで

いなかったし、富士山も登っていませんでした。

最近ですけど、7年前に初めて富士山に登りました

あまり関件ありませんが、昨年、広島の前爆記念式典に参加して、資料館も見てきました。全国50位の原爆投下の候補地があったらしく、その中に日立といわきが入っていたのには驚きました。

式典では、市長・議長・知事・安倍首相が挨拶をしたのですが、安倍首相の挨拶の後の拍手だけがパラパラでした。タクシーの運転手さんからは、遠くから来てもらいありがとうございますと言われました。RCでの活動が高萩・茨城・日本を語れる一助になればと思っています。

創業の精神

父の生まれは磯原で、昭和27年に、高萩の本町でガス会社を創業しました。創業の精神は、薪・炭で涙を流しながら家事を行っているのから解放し、煙のないスイッチ一つで食事の支度ができるようにすることだそうです。

ある機会に高萩の大内教育長にこの話をしたらいい話ですねとおっしゃっておいりました。しかし、職業奉仕委員会の出前講座では、2世が話すと迫力に欠けるので私はやらないということです。同感です。兄弟は姉が二人で自宅兼店舗ということで、当然のように家を継ぐということになりました。大学を卒業後大田区の蒲田の産業ガスの会社と神奈川の相模原の LP ガスの会社に4年間いわゆる修行に行つて昭和63年に戻ってきました。大学が田舎の福島だったので、社会人、ガスの知識についてはもとより、都会人になるのが大変でした。この時代はちょうどバブル景気の時代で、仕事も忙しく売上も拡大いろいろな経験するには調度良かったと思います。

高萩に戻って

高萩に帰ってきた年には高速道路がいわきまで開通し、人口もまだ増加し、田舎でもそれなりに活気があった時代でした。間もなく、常会の会員拡大担当の田中さんの勧めで、青年会議所に訳も分からず入会いたしました、12年間活動いたしました。献血活動も行っていました、63回続けております。ライオンズの人からは、大平はライオンズクラブに興味があるのかと思われたかもしれません。

交通指導隊のボランティア

又、永寿堂の沼野さんの勧めで高萩市民間交通指導隊に入り、安良川の公民館の前で学校のある月3回朝の登校時の立哨を16年間してい

ました。

警察官と同じような格好をしていましたので、小学生からは、「おまわりさん何人犯人を捕まえたの」と聞かれたりしましたが、別の子からは、「この人はガードマンさんだから犯人は捕まえられないんだよ」と言われました。立哨最後の日には、小学生が、道に落ちてた100円玉を私に届けてくれました。朝忙しかったのですが、駅前の交番に警察官の格好で届けてきました。

安全なガス器具

本業の方の話ですが、家庭用のLPガスの分野ですが、業界では、保安の確保と安定供給が求められています。お客さんが多少間違っても、ガスが漏れて爆発事故になるようなことのない安全装置の組み込まれたガスメータが、高萩に帰ってきた時にちょうど普及が始まりました。

父が茨城県の業界のリーダーをしていたこともあり、このメーターの取り付けと普及状況の社内の管理が当初の仕事でした。県内でも早い時期に全世帯に100%取り付けを完了した会社となりました。

先日、郡山の飲食店で痛ましい爆発事故が起きてしまいました。この10年間でLPガス事故による死者と負傷者は年平均で死者が1.4人（ピーク時は74人）負傷者が62人（825人）となり、この数年は死者が0人でした。家庭用ではあのような事故が起こる可能性はほぼないのですが、一度にガスを大量に使う飲食店では、いろいろな要因が重なり事故になってしまいました。業界では、二度とあのような事故が起こらないように、業務用施設の再点検を行っているところです。

大急ぎで、概略申しましたが、ご清聴ありがとうございました。

アジサイの花柄と葛のつるを切る

9月20日、9時より、アジサイロードの手入れを社会奉仕委員会の活動として、久しぶりに開催した。花が終わったアジサイの花がらが残っているので切り取ることで、下から自生して伸びている葛の弦を切り取る作業を1時間にわたって実施した。



イニシエーション・スピーチ

滝 範宗 会員

こんにちは。本日はお時間をいただきありがとうございます。何卒よろしくお願いいたします。



私は現在滝川医院3代目院長を務めております。当院は祖父、宗作が高萩の地に、昭和5年5月に開業致しまして、今年でちょうど90年を迎えました。

祖父は北茨城の桜井出身で、軍医出身とのことで、非常に怖い医者だったそうです。今でも年配の患者さんからは、お前の爺さんにかかったら、怪我をしても麻酔をせずに縫われたとか、何十年越しのクレームを言われることがあります。

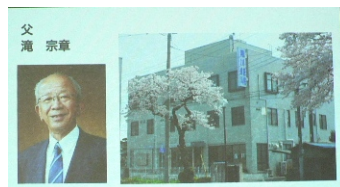
滝川医院は最初は今の本町の明光社の辺りにあったようですが、のちに現在の春日町に移転したそ



うです。覚えていらっしゃる方もいるかもしれません、昭和49年ごろの昔の病院の写真です。

父 高萩へ

祖父が昭和49年に亡くなると、父、宗章が東京の大学病院から戻り後を継ぎ、現在の滝川医院の建物ができました。私はちょうどその頃に生まれております。父は若い頃は救急医療に力を入れており、私が子供の頃は毎日のように救急車が来ていたことを記憶しております。当時は入院の病室もありましたので、職員や患者さんがたくさんいて、いつも賑やかな環境でした。



時代とともに患者さんも大病院へ

の入院を希望することが多くなり、平成8年に病室をしめ、その後は父は在宅医療へ力を入れるようになりました。朝の4時半からジープにのって高萩中を駆け回っていましたが、患者さんもお家族もさぞかし迷惑だっただろうと思います。また、父もやはり昭和の医者でしたので、患者さんに対しては厳しく、お前の父さんにはよく怒られたとか引っ叩かれたとかのクレームを未だにいただきます。

私は父が元気なうちにあとを継ぎたいと考えていましたので、平成23年に大学病院を辞めて高萩に戻り、3代目院長となりました。

学校生活

小学校は高萩小で、剣道を今川さんのお父さんから教わりました、今川さんは剣道も強くて抜群のリーダーシップで大先輩でした。

中学校は高萩を離れてつくば市の茗溪学園に入学し、12歳で親元を離れて寮生活をしました。自由な校風で、毎日が修学旅行みたいな生活でした。ほとんど勉強した記憶がありません。部活は機械体操部でした。将来はデザインに関わる仕事がしたいと、始めは美大進学のコースにいました。途中から家業を継ぐということで、高3の時

に理系の受験コースに変更したのですが、とても医学部など狙える状態ではありませんでした。

当時は、浪人が当たり前の時代でしたので、そこで3年計画と名付けた受験計画を立て、河合塾でのびのびと2年浪人させてもらって杏林大学に入学しました。大学ではオーケストラに所属しチェロを弾いておりました。

職歴など

大学を無事に6年で終えた後、医者がどのように一人前になっていくのかについてお話しします。

我々の世代ではまず卒業して医師免許を取得すると同時に、何を専門にしていきたいのかを決めて、各科の教室の医局に研修医として所属します。

医局というのは、学校の部活と似たようなシステムです。私は父の後を継ぐつもりで医者になったので、迷うことなく整形外科に入局しました。

しかし我々の時代の研修医制度というのがこの世の地獄ともいうべき制度で、特にその中でも整形外科というのは完全に男性社会、ラグビー部上がりの体育会系の組織でした。

まず最初に、お前は「はい」以外の返事をするなということを教え込まれました。僕は文化部出身の生意気な一年生でしたので、自分が勉強して

おかしいなと思うと平気で先輩に意見をしていたのですが、始めはかなりこれで虐められました。

研修医から大学へ

朝は6時から夜9時までくらいが日常の勤務時間で、それ以外に緊急手術や、学会発表の準備などで、家に帰って来られる日は週の半分くらいです。夜中の手術や重症患者の対応が続くと数日大学に泊まり込むというのは日常茶飯事で、仮眠は取れるものの、100時間連続勤務などもあたりまえの世界です。当然土曜も日曜も病院に行きますので、最初の一年半まで、500日間くらい、お正月も含め1日の休みもなく出勤しました。そして最初の一年は月給が3万円でしたので、当然食べていけませんから親に仕送りを受けて生活します。

2年間の研修医時代が終わると、例えば日立病院や協同病院のような中規模の市中病院に出向になり、多少は人間らしい生活ができるようになります。通常外科ですと1日でも早く外科の手術を身につけたいと願っているので、できるだけたくさん手術をやらせてもらえるような病院に行きたがるのですが、私はここで出向せずに大学院への進学を選びました。（中略）

大学院は通常4年間あるのですが、脊椎外科という分野で脊髄電気生理学の研究をしておりました。数百匹のネズミを屠殺して研究ですが、3年で終わらせて、卒後6年目にしようやく市中病院に出向することができ、ここから本格的な整形外科医としての研鑽、手術の修行が始まりました。

3年間はいくつかの病院で手術の技術を身につけ、卒後9年目で大学病院へ戻り、さらに高度な医療の技術を勉強し、10年目に助教という役職をいただき、やっとここで大学病院からまともな額の月給をもらえるようになります。

助教は大学の教員になりますので、手術だけでなく、学生の講義や指導をしたり、研究もつづける生活になります。あさ8時から夜の9時ごろまで手術や診療、学生や研修医の指導をして、夜9時から自分の研究や論文の仕事をして、家に帰るのがいつも夜中の2時ごろでした。それでも大学の手術室でメスを握るということは、本当に名誉なことで、この一年は私の人生の中でもっとも華々しい日々であったと思います。

こうして、10年間在籍した大学ですが、高萩も深刻な医療過疎になっているということを聞き、いまこそ自分が帰らなくてはいけないと思い、2

011年の7月に高萩にもどりました。12歳の時に高萩をはなれましたので、24年ぶりの帰郷となりました。(中略 16日に卓話では、医療について思うことと原稿を用意していただきましたが、後日掲載します。)

趣味

高校生の頃デザインに興味を持っていましたが、だんだんと、総合デザインともいえる建築に興味が移りました。旅行では観光よりも建築物を見に行くようになりまして、結婚式も安藤忠雄さんの設計した教会でやりたいというだけの理由で北海道のトナムでやりました。水の教会という非常に美しい教会です。

ですので、自分の家を建てる際に、これは自分のライフワークになるだろうと考えまして、いろんな建築家の作品を見て、一年くらいかけてこのTNAというアトリエ系の設計事務所を選びました。私と同じ歳の建築士なのですが、建築界の芥川賞と言われる日本建築学会賞などを取られている、大変活躍されているご夫婦です。

私にとっては、家を建てるというのは高い美術品を買ってその中に住む、という感覚です。ですので折角高い設計料を払って作品を作ってもら

のに、素人のこちらから何か注文をつけたり、意見を出したりするのは、その建築作品の価値を下げる行為だと思っていましたから、敷地条件と予算と家族構成を伝えた他に、設計内容で依頼したのは、平家をお願いします、の1点だけでした。

そして出来上がったのが我が家です。作品のキーワードとして欄間、日本家屋にある垂壁ですが、これがキーワードでした。まず敷地全体に7メートル間隔で高さ3メートルの柱をたてて、柱と柱の間に様々な高さで梁をかけます。天井からこの梁までを壁することで、垂壁として機能させています。浴室などプライバシーが重視される場所では床ギリギリまでの壁が降りて、逆にリビングなどでは数十センチだけ降りたりしています。ごく一部を除いた全ての壁が垂壁になっていますので、地面に頭をつけると、建物のはじからはじまで見通せることになります。

そして、垂壁と床の間にガラスを置いたり、そのまま開けておいたりすることで、この7メートル四方のエリアが屋外になったり、屋内になったりするわけです。さらに地面を掘って基礎を作ることと、屋内の床と屋外の地面がほぼ同じレベルになっておりますので、どこからが外で、どこが

中なのか、その境界がとても曖昧になっているという建築です。

ありがたい事に、日本では東京建築士会賞という賞を頂きまして、海外でもイタリアのドムスというヨーロッパで最も権威のある建築雑誌に載せて頂きました。海外の雑誌はやはり影響があるようでレクサスがCM撮影に来たり、アップルコンピュータが建物の写真の使用許可を取ってきたりしたのですが、どちらもまだメディアには出ていないようです。

そのような素晴らしい建築で、満足していますが、家族やみんなに同じような評価をいただくのは難しいことです。一人でこの建物を満喫している生活です。

ロータリーに入って1年

最後に今月で私もロータリー入会1年を迎えたので、ロータリーについてお話しさせてください。

私はロータリーに入会する前はロータリーというのは会員同士の相互利益のためのクラブと捉えておりまして、私を勧誘してくださっていた今川さんに、入会前に「先生、我々のような職業にお

いて、何かロータリーに入って得はあるのですか？」と聞いたことがあります。

すると今川さんは「先生、違いますよ。確かにそういう自分の利益や人脈などを目的に入会する人もいますが、そういった人は結局長続きしないんです。今のロータリーの会員はみんな、純粋に高萩のために、地域社会をよくするために活動したいと思っている人たちなんですよ」とおっしゃいました。

それを聞いて、このロータリークラブにとっても興味が湧き、私もそのような活動に加わりたい、と思うようになったことが入会のきっかけの一つとなりました。

そして実際に入会して皆様と過ごす中で、今川さんの言ったことが本当のことだということはすぐに理解できました。

さらには、会員のみなさんが、これからの自分の人生の見本となるような、素晴らしい人格をお持ちの方ばかりでした。自分の仕事だけやっている限りは交流することもできなかった皆さんとの出会いは、今後の私にとって余りある財産となると思っています。

これからも皆さんの教えを請いながら、少しでもクラブの力となれるように頑張っていきたいと



思っております。どうぞ今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

記念の看板のイメージ

第1面に50周年記念事業メイン事業である看板についての説明を掲載しましたが、看板のイメージは、下の写真のようになります。最終的な絞り込みがこれからの作業になるものと思われます。

【ニコニコBOX】

大平敏明さん：本日はイニシエーションスピーチ。洗礼を受けます。

小森勇一さん：大平さん、滝さん、イニシエーションスピーチごくろうさまです。よろしくお願いします。

鈴木直登さん：秋の気配強くなりました。又、忙しくなるし、汗との戦いでもある。新米はうまい

ぞ！

大高司郎さん：全米テニス、大坂なおみの優勝を祝して。

花園文熙さん：50周年記念ブレザー完成お世話になりました。鈴木国男委員にお礼申し上げます。

沼田操さん：秋らしくなってきましたね。朝夕過ごしやすいですね。

田所和雄さん：大平さん、滝さん、イニシエーションスピーチごくろうさまです。よろしくお願いします。

石君平さん：大平さん、滝さんイニシエーションスピーチ楽しみにしてます。

大河原浩さん：大平さん、滝さん、イニシエーションスピーチよろしくお願いします。

鈴木国男さん、江尻寛さん、今川隆さん、菱川健司さん、平野浩司さん、滝徳宗さん

本日計 15,000円

累計 198,500円

【ロータリー財団】

本日計 0円

累計 369,165円

【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 24,600円

【米山記念奨学会】

本日計 2,000円



9月20日アジサイ剪定ツタ切り作業(撮影坪和)

